



管理者の大綱説明

**総合議会定例会開催**

平成15年11月13日(木)午前10時から管理組合会議室において、岳南排水路管理組合議会定例会を開催しました。上程した議案は度決算認定など3件で、審議の結果、すべて原案通り承認可決されました。

**平成14年度組合会計  
決算認定について**

平成14年度の経済情勢は、やかましく改善傾向にあると言わされておりましたが、回復感は感じられず、依然として厳しい状況が続きました。このような状況下で、年間の使用総排水量は、約3億8,832万m<sup>3</sup>で、前年度に比較して3.2%減少し、管理組合設立以来最低となりました。

第11号  
編集・発行  
岳南排水路管理組合  
富士市今泉654番地の1  
☎(0545)51-2623  
FAX(0545)51-2676

歳入決算額は7億8,229万円で、退職手当基金からの繰入金、使用料の減などにより前年度に比較して5.8%の減少となりました。また歳出決算額は7億1,295万余円で、前年度に比較して8.6%の減少となりました。これは職員数の減、諸経費の削減によるものです。

実施された主要事業は、施設の保全対策のための事業と

年々財政状況が厳しさを増している中で、職員の定員管理に配慮しつつ、施設の安全、強化のための事業は、計画どおり執行することができました。

**平成15年度会計補正  
予算について**

平成15年度管理組合会計補正是、歳入歳出予算に3,933万2千円を追加し、8億2,683万2千円としました。

# 平成14年度 組合会計決算が 承認されました

—平成15年11月13日開催—  
岳南排水路管理組合議会定例会

**管理組合監査委員の  
選任について**

歳入では、平成14年度決算の確定に伴い前年度繰越金の追加、歳出では、調整予算として予備費に追加措置しました。

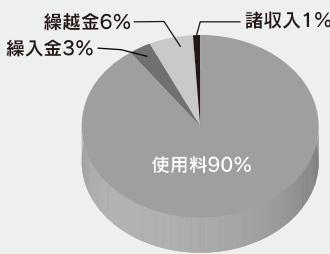
して、底面補修工事及び管渠の更生工事等5件7,038万円。管路の流下能力を改善するための事業として、岳南1号第7排水路管路新設工事等に7,918万円。ポンプ場施設の保全対策事業として沈砂池ゲート改良工事、ポンプ場監視制御盤更新工事等に、1億3,171万円を支出しました。

使用料収入が過減傾向を続けた。

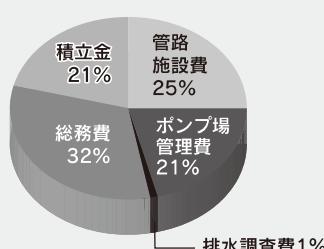
管理組合監査委員  
井出富雄氏の任期満了に伴い、再任の同意を求めました。

## 平成14年度 決算状況

**歳入(7億8,229万円)**



**歳出(7億1,295万円)**



歳入(会計年度内に入ってきたお金)

使用料(岳南排水路の使用料など)	7億 82万円
繰入金(基金からの取りくすし金)	2,598万円
繰越金(前年度からの繰越金)	5,002万円
諸収入(基金預金利子など)	547万円

歳出(会計年度内に使ったお金)

管路施設費(管路施設の整備に)	1億7,936万円
ポンプ場管理費(ポンプ場の維持管理に)	1億5,182万円
排水調査費(硫化水素などの調査に)	648万円
総務費(庁舎管理や事務費などに)	2億2,551万円
積立金(施設維持などに備えた積立金)	1億4,978万円



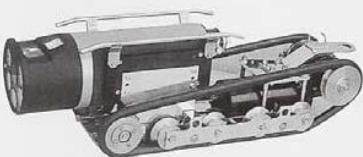
再任された監査委員

**井 出 富 雄 氏**

税理士として活躍され、財務管理や経営管理において専門知識を有しております。現在、富士市代表監査委員にも在任中です。

管内の堆積土砂等を吸引するバキューム車  
(岳南幹線排水路)管理組合庁舎前

人力により浚渫した土砂等



管内調査に使用する自走式のテレビカメラ



天間水質監視所の視察

# 夏の点検

## 事業費約1億1,500万円

管内に堆積した土砂等の浚渫作業  
(岳南幹線排水路)管理組合庁舎前

**議員及び運営委員による  
施設の視察を実施**

平成15年7月4日、今年6月に新しく選ばれた議員及び関係法令や、予算書等を参照しながら岳南排水路の概要について説明をいたしました。

午後からは議員と並び運営委員の合議にて、管渠工事及び今年度施工中の妻養工場、岳南1号第7排水路新設工事現場のケーブル敷設

管では、調査員が管内に入つて調査しますが、今年度は岳南2号第1排水路(今泉地先)、岳南3号第1排水路(鷺田地先)、岳南3号第4排水路(今泉地先)及び幹線排水路で延長6.6kmについて実施しました。

点検調査の結果、管継ぎ手部よりの浸入水、管のたるみ、人孔足損金物の腐食欠陥、浚渫の必要のある箇所等を発見しました。

工事では管内底面補修工事、

管渠更生工事、今泉ポンプ場

沈砂池ゲート改良工事、人孔

整備工事、足損金物付替工事

等を実施しました。

事業件数24件、事業費約1億1,500万円、延べ作業人

数約620人を投げてきました。

短い施工期間の中、事故も

無くすべての作業が予定どおり完了することができました。

協力ありがとうございました。



管渠更生工事(ICP工法)岳南2号第1排水路、美藤製紙機付近



管渠更生工事(ICP工法)岳南2号第1排水路、美藤製紙機付近



管渠更生工事(SPR工法)岳南3号第4排水路、日本大昭和板紙吉永(株)構内

管内底面補修工事(岳南1号第1排水路)  
高野製紙工業機付近

管路測量調査(岳南幹線排水路)管理組合庁舎前

改良工事  
今泉ポンプ場沈砂池ゲート

# 集中工事

## 、延べ作業人数約620人

今年の排水路の点検・集中工事は、平成15年7月26日(日)から8月1日(金)の5日間で実施しました。点検調査委託では、管径1,000mm以下の管はアーマーラによる調査をしますが、今年度は岳南1号第1排水路(今泉地先)、岳南3号第4排水路(鷺川地先)、岳南2号第1排水路(高野製紙機付近)について実施しました。また管径1,100mm以上の

管では、他の委託業者としては、名路線にあるゲート9箇所15門及び今泉ポンプ場の電気設備、ゲート・除塵機等の簡易点検を実施しましたが、特に異状ありませんでした。毎年異化されるこうした点検作業をより施設の適切な維持管理をして

います。

確認しました。点検調査により発見された異状箇所は、計画的に順次補修していきます。

管渠更生工事、今泉ポンプ場

沈砂池ゲート改良工事、人孔

整備工事、足損金物付替工事

等を実施しました。

特に異状ありませんでした。毎年異化されるこうした点検作業をより

施設の適切な維持管理をして

います。

# 平成16年度工場排水流入禁止期間決まる

## 岳南排水路運営委員会開催

委員長 佐野 廣彦 氏 (新任)

副委員長 大石 展弘 氏

望月 豊 氏 (新任)



佐野廣彦氏  
丸富製紙株社長



大石展弘氏  
高尾製紙株社長



望月 豊氏  
日本製紙株鈴川工場工場長

11月14日(金)午前10時から管理組合会議室において、岳南排水路運営委員会が開催され、空席となっていた委員長には副委員長の丸富製紙株 社長 佐野廣彦氏が、後任副委員長には日本製紙株鈴川工場 工場長 望月豊氏が選任されました。

また提案した以下の案件はすべて承認されました。

- 報告事項 ○平成14年度事業報告について  
○排水量及び使用料実績について  
○平成15年度夏季管内点検結果について  
○留保排水量の再配分について
- 審議事項 ○平成16年度夏季工場排水流入禁止期間について  
自 平成16年7月26日(月)午前5時から  
至 平成16年7月30日(金)午後5時まで  
路線別の詳細日程は工事、点検に必要な日数とし、事務局に一任する。

### 岳南排水路運営委員会委員名簿

No.	職	委員構成	所属	役職	氏名	備考
1	委員長	岳南排水路使用者	丸富製紙株	社長	佐野 廣彦	1号鷹岡
2	副委員長	//	高尾製紙株本社工場	社長	大石 展弘	1号富士宮
3	//	//	日本製紙株鈴川工場	工場長	望月 豊	4号
4	委員	//	丸金製紙株	社長	鈴木 基之	1号鷹岡
5	//	//	王子板紙株富士工場	工場長	白澤 哲夫	1号南部
6	//	//	紺屋製紙株	社長	山本 尊久	1号南部
7	//	//	(株)興人富士工場	工場長	札場 義義	2号
8	//	//	東海製紙工業株	社長	村中 正明	2号
9	//	//	三島製紙株原田工場	工場長	河野 遼一	3号A
10	//	//	日本大昭和板紙吉永株	社長	水越 哲夫	3号B
11	//	//	王子製紙株富士工場	工場長	齋藤 雄二	5号
12	//	知識経験者	富士工商会議所	専務理事	佐野征二	
13	//	//	富士工商会議所	専務理事	加茂恒雄	
14	//	富士市	富士市下水道部	部長	秋山 幸男	
15	//	//	富士市商工農林部	部長	菊池勝敏	
16	//	富士宮市	富士宮市水道部	部長	石川俊秋	

### 使用者の動き

平成15年7月1日から12月10日までに受け付いた代表者の変更は次のとおりです。

代 表 者 者	工場名	新しい代表者
王 子 製 紙 株 富 士 工 場	齋藤 源二	
(株)ニッピ富士工場	谷 威 広	
静岡フジサワ株	吉村 敏行	
三島製紙株原田工場	河野 遼一	
三島製紙株原田工場(依田橋)	河野 遼一	
豊年製紙株伝法工場	二宮 俊史	
紅嶺製紙株	二宮 俊史	
滝沢製紙株	渡邊 修治	
名 称	新しい工場名	変更前の工場名
静岡フジサワ株	藤沢薬品工業株富士工場	
三島製紙株原田工場(依田橋)	三島製紙株新富士工場	
イスミコボレーション株	泉製紙(有)	

### 留保排水量の再配分について

平成14年度の排水量は工場数の増減はありませんが、前年度に比べ3.2%、1,300万m<sup>3</sup>余りの減少となりました。使用料は2,300万円余りの減少となり、収入金額は7億円を割り込みました。

### 排水量及び使用料実績について

平成14年度の排水量は工場数の増減はありませんが、前年度に比べ3.2%、1,300万m<sup>3</sup>余りの減少となりました。組合の財政にとって大きな問題となりますが、施設の改修により留保排水量の範囲内で許可しております。従来、増加のため各路線で生じた留保排水量が許可しておりましたが、施設の改修により、岳南1号第7排水路の新設により流下能力に余裕ができるため、留保排水量を安定財源確保を図るものです。

地区に、1号南部地区と2号鷹岡地区で増量を希望してい

境が整いました。

地区から融通するといふことによる管理組合の一助となりますと共に管理組合の運営が了承されましたので、再配

分され、使用工場の活性化のため、留保排水量を嵩上げする工場の要望に応えられる環境が整いました。

### 岳南排水路のホームページができました



URLは  
<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~gakuhai/>  
です。ぜひアクセスしてみてください。  
また、富士市ホームページの「施設イエローページ」からもリンクしています。